

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぱぴぶべぽ		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 23日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動を固定化せず思いっきり過ごせるようにしている。	事業所に来る目的を理解してもらいながら、活動が固定化しないように平日でも公園活動や体育館活動・クッキング等多くの活動を取り入れ飽きないようにしている。児童が主体となりやりたい事を話し合い楽しんで活動できる様にしている。	日々の活動ではその日の状況に合わせて臨機応変に柔軟に対応して行きたい。土曜日の活動では、普段では行けない所や普段では出来ない事・遠出など、児童の意見を取り入れながら計画している。
2	自立に向けての生活訓練や買い物訓練・挨拶訓練の実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活訓練・清掃全般を児童で協力し最後までやり遂げる。また、使用道具の置き場所・作業の工程等のポップを作成し視覚化する事で見て直ぐにわかる様にしている。 ・買い物訓練・実際のお金を持ちスーパーでの買い方や支払い方の訓練。事業所内では、順番を守る練習に加え、接客の仕方・レジ・お釣りの計算等の練習を行なっている。 ・当たり前の挨拶がいつでも出来るように帰りの会を利用し挨拶訓練に取り組んでいる。戸外活動時でも職員が見本を見せる事で自然な挨拶ができる様にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが落ちていたら拾う・使った物は片付ける事が自然とできる様に意識づけて行きたい。 ・レジや接客は苦手意識がある為、短時間から練習をし、人と関わる事でコミュニケーション能力を身につけ自立に向けて支援していく。 ・慣れてくるとただやつて感が見られたり、適当な挨拶になってしまふ為、挨拶の内容を変えながらマンネリ化しない様な工夫をして行きたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内でのルールや公共施設でのルールの理解が出来ていない。	活動全般ルールがあるが、特性もあり理解する力が弱く中々入っていかない。公共施設を使う頻度が少ないので使う時しかルールの説明を行わない為理解が難しい。	活動前にルールの確認を行なってから活動に入る。活動の中で公共施設使用のルール説明をポップや絵カード等を用いて視覚化し定期的に学習する。学習後は実際にバスに乗ったり、図書館を利用したりと実践してみる。
2	児童館や地域の子ども達と活動する機会がなく交流が出来ていない。	公民館での活動や公園活動で地域の子ども達と関わりあう事はあったが、消極的にコミュニケーションが苦手な特性が強く中々交流する事が難しかった。	地域の子ども達との交流を図るために、地域のイベント参加や集まりやすい公民館を利用し交流が図れる様に工夫して行きたい。また、他施設へ見学に行くなど、個人情報保護に配慮しながら、交流を図って行きたい。
3	保護者の研修会を開催しているが、参加が少なく交流会が出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の内容が保護者の思っている物と一致しない。 ・参加人数が少ないので交流会が出来ていない。 ・研修会参加に伴い子どもを預ける場所がない。等が考えられ参加人数が見込めない。 	研修内容を保護者より募り、困り感を聞き出しながら開催していく。研修会後に保護者同士の交流会やイベントを計画しきょうだいの参加も考えていく。